

# 平成20年 岐阜県輸出関係調査結果

＝ 県総合企画部統計課 ＝

## 【 I 調査の概要 】

### 1 調査の目的

この調査は、製造業に属する事業所で製造又は加工された輸出向け製品について、業種、輸出先、輸出金額等を調査し、輸出の現況と地域振興施策の基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査の根拠

この調査は、岐阜県統計調査条例（昭和28年岐阜県条例第48号）の規定による岐阜県統計指定調査（県統計指定第6号）である。

### 3 調査の対象

この調査の対象は、平成20年工業統計調査の調査対象となる県内の事業所のうち、従業者が4人以上で次に掲げるものとする。

- (1) 製品、半製品（国内の他の事業所で更に加工されたのち輸出される場合を除く）を原形のまま輸出しているもの。（間接輸出を含む）
- (2) 輸出向け製品（国内の他の事業所で更に加工されるものを除く）を賃加工しているもの。

### 4 調査の方法

この調査は、対象事業所の自計申告により、平成20年工業統計調査と同時に行ったものである。

### 5 調査事項

- |            |                                |
|------------|--------------------------------|
| (1) 事業所名   | (6) 直接輸出額とその輸出港別取引先業態別内訳       |
| (2) 事業所所在地 | (7) 間接輸出額とその出荷先別内訳             |
| (3) 従業者数   | (8) 品目別輸出額とその輸出先地域別内訳          |
| (4) 製造品出荷額 | (9) 輸出向け製造品の品目別加工賃収入額とその収入先別内訳 |
| (5) 加工賃収入額 |                                |

### 6 調査の時期

この調査は、平成20年1月1日から平成20年12月31日までの1年間について、平成20年12月31日現在で調査したものである。

## 7 用語の解説

- (1) 輸出品とは、製造品を原形状態で次のいずれかにより輸出したものである。  
 直接輸出…製造事業所が本社、貿易商社、問屋等を介せず直接外国に輸出したもの。  
 間接輸出…製造事業所が本社、貿易商社、問屋又は他の製造業者を介して間接に輸出したものの。ただし、国内の他の事業所で更に加工されたものを除く。
- (2) 輸出額とは、工業統計調査における製造品出荷額のうち輸出向け製品の出荷額である。
- (3) 輸出先地域別の主な内訳は次のとおりである。
- 北米・・・・・・・・アメリカ、カナダ
  - 中南米・・・・・・・・メキシコ、コロンビア、ベネズエラ、ブラジル、ペルー、アルゼンチン、パナマ、キューバ、チリ等
  - ヨーロッパ・・・・ドイツ、英国、フランス、ベルギー、ルクセンブルグ、オランダ、ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、スイス、スペイン、イタリア、ポルトガル、ギリシア、オーストリア、旧ユーゴスラビア等
  - 中東・ロシア等・・・・ロシア、チェコ、スロバキア、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ルーマニア、アルバニア等
  - 中近東・・・・・・・・イラン、イラク、サウジアラビア、エジプト、クウェート、シリア、レバノン、トルコ、アルジェリア等
  - アフリカ・・・・・・・・スーダン、ナイジェリア、ガーナ、リベリア、エチオピア、南アフリカ共和国、コンゴ、タンザニア、ケニア等
  - オセアニア・・・・オーストラリア、ニュージーランド等
  - アジア・・・・・・・・韓国、台湾、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、シンポール、カンボジア、インド、パキスタン、中国、ベトナム、北朝鮮、モンゴル等
- (4) 県内圏域別の内訳は次のとおりである。

圏 域	市 郡
岐阜圏域	岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡
西濃圏域	大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡
中濃圏域	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡
東濃圏域	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市
飛騨圏域	高山市、飛騨市、下呂市、大野郡

## 【 Ⅱ 調査結果の概要 】

### 1 概況 …輸出額は5年連続の増加…

- ◎ 輸出額は7673億円で、前年に比べ364億円増（前年比5.0%）と、5年連続の増加となった。
- ◎ 事業所数は345事業所で、前年に比べ4事業所減（同△1.1%）となった。
- ◎ 産業別にみると、輸送用機械器具製造業の輸出額が2045億円（構成比26.7%）と最も多く、前年に比べ179億円増となった。
- ◎ 輸出先別では、アジアが3151億円（構成比41.1%）と最も多く、前年に比べ197億円増（前年比6.7%）となった。
- ◎ 圏域別では、中濃圏域が3558億円（構成比46.4%）と最も多く、前年に比べ522億円増（前年比17.2%）となった。

表－1 輸出状況の推移（従業者4人以上）

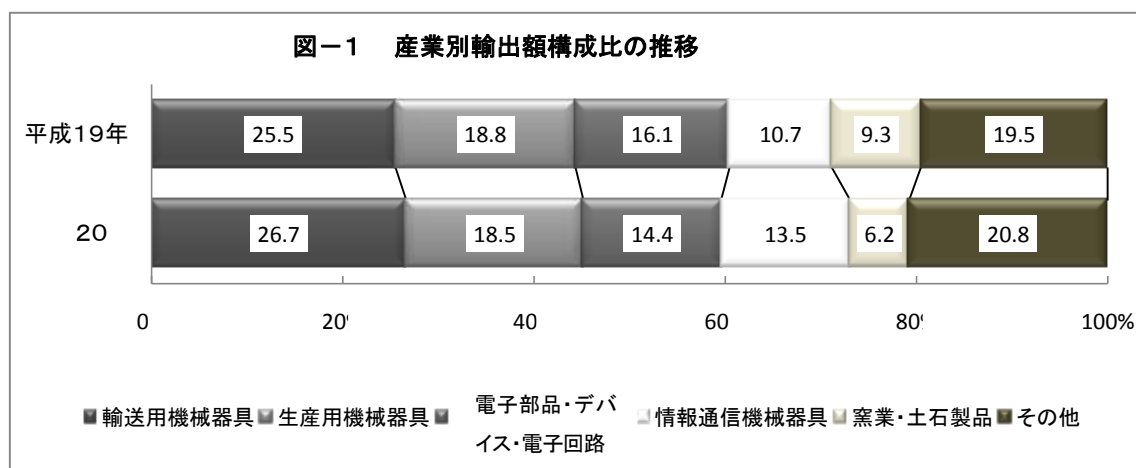
区 分	事業所数		輸出額(A)		製造品出荷額等(B) (4人以上)		輸出割合 (A)/(B)
		対前年 増減率		対前年 増減率		対前年 増減率	
		%	百万円	%	百万円	%	%
平成11年	371	0.5	403 136	△ 15.4	4 869 904	△ 6.2	8.3
12	364	△ 1.9	470 283	16.7	5 085 773	4.4	9.2
13	361	△ 0.8	562 415	19.6	4 959 937	△ 2.5	11.3
14	381	5.5	518 541	△ 7.8	4 717 030	△ 4.9	11.0
15	377	△ 1.0	515 048	△ 0.7	4 829 568	2.4	10.7
16	371	△ 1.6	584 105	13.4	4 945 260	2.4	11.8
17	362	△ 2.4	660 234	13.0	5 088 016	2.9	13.0
18	344	△ 5.0	673 283	2.0	5 527 988	8.6	12.2
19	349	1.5	730 859	8.6	5 878 617	6.3	12.4
20	345	△ 1.1	767 267	5.0	5 953 977	1.3	12.9

注) 製造品出荷額等は、工業統計調査対象事業所の数値である。

なお、平成19年以前の製造品出荷額等の数値は経済産業省「工業統計表」による。

### 2 産業別輸出状況 …約半数の産業で増加…

産業別に輸出状況をみると、輸送用機械器具製造業が2045億円（構成比26.7%）と最も多く、次いで生産用機械器具製造業が1422億円（同18.5%）、電子部品・デバイス・電子回路製造業が1103億円（同14.4%）、情報通信機械器具製造業が1037億円（同13.5%）と、4産業で全体の7割以上を占めている。前年に比べ、情報通信機械器具製造業が254億円増（前年比32.4%）、輸送用機械器具製造業が179億円増（前年比9.6%）となった。



表－２ 産業別輸出額

区 分	1 9 年		2 0 年		増減額		増減率	
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	万円	%	万円	%
総 数	73 085 946	100.0	76 726 742	100.0	3 640 796	5.0		
09食料品製造業	16 907	0.0	27 943	0.0	11 036	65.3		
10飲料・たばこ・飼料製造業	22 869	0.0	11 569	0.0	△ 11 300	△ 49.4		
11繊維工業	354 126	0.5	334 078	0.4	△ 20 048	△ 5.7		
12木材・木製品製造業	X	X	-	-	X	-		
13家具・装備品製造業	2 010	0.0	X	X	X	X		
14パルプ・紙・紙加工品製造業	890 445	1.2	952 962	1.2	62 517	7.0		
15印刷・同関連業	X	X	-	-	X	-		
16化学工業	2 115 463	2.9	1 984 836	2.6	△ 130 627	△ 6.2		
17石油製品・石炭製品製造業	X	X	-	-	X	-		
18プラスチック製品製造業	2 272 624	3.1	2 398 362	3.1	125 738	5.5		
19ゴム製品製造業	160 987	0.2	161 050	0.2	63	0.0		
20なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-	-	-	-		
21窯業・土石製品製造業	6 799 800	9.3	4 721 241	6.2	△ 2 078 559	△ 30.6		
22鉄鋼業	362 990	0.5	349 898	0.5	△ 13 092	△ 3.6		
23非鉄金属製造業	X	X	X	X	X	X		
24金属製品製造業	1 353 118	1.9	1 286 735	1.7	△ 66 383	△ 4.9		
25はん用機械器具製造業	1 705 395	2.3	2 953 601	3.8	1 248 206	73.2		
26生産用機械器具製造業	13 737 967	18.8	14 217 409	18.5	479 442	3.5		
27業務用機械器具製造業	1 288 505	1.8	2 313 945	3.0	1 025 440	79.6		
28電子部品・デバイス・電子回路製造業	11 772 378	16.1	11 031 302	14.4	△ 741 076	△ 6.3		
29電気機械器具製造業	3 184 259	4.4	2 674 384	3.5	△ 509 875	△ 16.0		
30情報通信機械器具製造業	7 827 429	10.7	10 365 871	13.5	2 538 442	32.4		
31輸送用機械器具製造業	18 664 677	25.5	20 451 873	26.7	1 787 196	9.6		
32その他の製造業	531 806	0.7	452 045	0.6	△ 79 761	△ 15.0		

3 輸出先別輸出状況 …アジア向けが好調を持続…

輸出先別に輸出状況をみると、アジア向けが電子部品・デバイス・電子回路製造業を中心に3151億円（構成比41.1%）と最も多く、次いでヨーロッパ向けが生産用機械器具製造業を中心に1505億円（同19.6%）、北米向けが情報通信機械器具製造業を中心に1498億円（同19.5%）と、3地域で全体の8割以上を占めている。

前年に比べ、アジア向けが電子部品・デバイス・電子回路製造業を中心に197億円増（前年比6.7%）、アフリカ向けが輸送用機械器具製造業を中心に186億円（同97.9%）増となった。

表－３ 輸出先別輸出額

区 分	1 9 年		2 0 年		増減額		増減率	
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	万円	%	万円	%
総 数	73 085 946	100.0	76 726 742	100.0	3 640 796	5.0		
北 米	15 710 574	21.5	14 981 364	19.5	△ 729 210	△ 4.6		
中 南 米	5 472 121	7.5	5 331 715	6.9	△ 140 406	△ 2.6		
ヨ ー ロ ッ パ	14 978 484	20.5	15 053 483	19.6	74 999	0.5		
中 東 欧 ・ ロ シ ア 等	1 033 874	1.4	727 718	0.9	△ 306 156	△ 29.6		
中 近 東	2 853 934	3.9	3 450 525	4.5	596 591	20.9		
ア フ リ カ	1 896 272	2.6	3 751 899	4.9	1 855 627	97.9		
オ セ ア ニ ア	1 543 431	2.1	1 844 503	2.4	301 072	19.5		
ア ジ ア	29 545 247	40.4	31 511 386	41.1	1 966 139	6.7		
不 明	52 009	0.1	74 149	0.1	22 140	42.6		

#### 4 圏域別輸出状況 ……中濃圏域、岐阜圏域で大幅に増加…

圏域別にみると、中濃圏域が生産用機械器具製造業を中心に3558億円（構成比46.4%）と最も多く、次いで西濃圏域が電子部品・デバイス・電子回路製造業を中心に2208億円（同28.8%）、岐阜圏域が輸送用機械器具製造業を中心に1457億円（同19.0%）の順となっている。

前年に比べ、中濃圏域が生産用機械器具製造業を中心に522億円増（前年比17.2%）、岐阜圏域が輸送用機械器具製造業を中心に202億円増（同16.1%）となった。

表－4 圏域別輸出額

区 分	1 9 年		2 0 年			
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	増減額	増減率
	万円	%	万円	%	万円	%
総 数	73 085 946	100.0	76 726 742	100.0	3 640 796	5.0
岐 阜 圏 域	12 550 549	17.2	14 569 671	19.0	2 019 122	16.1
西 濃 圏 域	25 638 055	35.1	22 081 632	28.8	△ 3 556 423	△ 13.9
中 濃 圏 域	30 361 094	41.5	35 577 604	46.4	5 216 510	17.2
東 濃 圏 域	3 612 380	4.9	3 698 257	4.8	85 877	2.4
飛 騨 圏 域	923 868	1.3	799 578	1.0	△ 124 290	△ 13.5

#### 5 直接輸出と間接輸出の状況

##### (1) 直接輸出

製品、半製品を直接輸出した事業所の輸出額は3245億円で、前年に比べ20億円増（前年比0.6%）となった。

輸出港の別では、名古屋港が全体の90.0%を占めている。

また、取引先の業態別では、製造業者が全体の82.7%を占めている。

表－5 直接輸出額の状況

##### ○ 輸出港の別

区 分	19年		20年		
	輸出額	輸出額	増減額	増減率	構成比
	万円	万円	万円	%	%
総 数	32 255 535	32 452 503	196 968	0.6	100.0
船 舶	...	30 746 612	-	-	94.7
名古屋港	30 215 183	29 217 644	△ 997 539	△ 3.3	90.0
航空機	...	1 705 891	-	-	5.3
中部国際空港	...	1 471 444	-	-	4.5

##### ○ 取引先の業態別

区 分	19年		20年		
	輸出額	輸出額	増減額	増減率	構成比
	万円	万円	万円	%	%
総 数	32 255 535	32 452 503	196 968	0.6	100.0
卸 売 業	4 592 941	5 027 689	434 748	9.5	15.5
小 売 業	105 712	84 204	△ 21 508	△ 20.3	0.3
製 造 業	26 993 552	26 846 394	△ 147 158	△ 0.5	82.7
そ の 他	563 330	494 216	△ 69 114	△ 12.3	1.5

注1) 20年に区分を変更したため、19年の船舶、航空機及び中部国際空港の数値は不明

注2) 名古屋港及び中部国際空港の構成比は、総数に占める割合

## (2) 間接輸出

間接輸出した事業所の輸出額は4427億円で、前年に比べ344億円増（前年比8.4%）となった。

また、出荷先別にみると、本社工場が全体の41.7%と最も多く、次いで、製造業者が29.8%、貿易商社が26.7%の順となっている。

なお、介在する本社、商社等の県内、県外割合では、県外が96.9%を占めている。

表-6 出荷先別間接輸出額の状況

区 分	19年	20年								
		計					県 内		県 外	
		輸 出 額	輸 出 額	増 減 額	増 減 率	構 成 比	輸 出 額	構 成 比	輸 出 額	構 成 比
万円	万円	万円	%	%	万円	%	万円	%		
総 数	40 830 411	44 274 238	3 443 827	8.4	100.0	1 382 301	100.0	42 891 937	100.0	
本 社 工 場	16 020 869	18 450 499	2 429 630	15.2	41.7	892 144	64.5	17 558 355	40.9	
貿 易 商 社	13 403 545	11 811 948	△ 1 591 597	△ 11.9	26.7	297 746	21.5	11 514 202	26.8	
製 造 業 者	11 010 713	13 207 232	2 196 519	19.9	29.8	28 549	2.1	13 178 683	30.7	
問 屋 ・ そ の 他	395 284	804 559	409 275	103.5	1.8	163 862	11.9	640 697	1.5	

## 7 輸出向け製品の加工賃収入額の状況

輸出向け製品を賃加工している事業所の加工賃収入額は12億円で、前年に比べ10億円減（前年比△45.5%）となった。

また、収入先別にみると、製造業者が75.0%、貿易商社が25.0%となった。

表-7 収入先別加工賃収入額の状況

区 分	19年	20年								
		計					県 内		県 外	
		収 入 額	収 入 額	増 減 額	増 減 率	構 成 比	収 入 額	構 成 比	収 入 額	構 成 比
万円	万円	%	万円	%	万円	%	万円	%		
総 数	224 256	122 248	△ 102 008	△ 45.5	100.0	3 595	100.0	118 653	100.0	
貿 易 商 社	22 569	29 621	7 052	31.2	24.2	-	-	29 621	25.0	
製 造 業 者	198 471	89 032	△ 109 439	△ 55.1	72.8	-	-	89 032	75.0	
問 屋 ・ そ の 他	3 216	3 595	379	11.8	2.9	3 595	100.0	-	-	